

## 【2】子どもたちがわくわくする学校ってどうしたらできる？

### 1. 先生に余裕とサポートを、地域のカも生かして

#### (1) 先生に余裕を

- ・教師が挑戦できる環境作り ・先生の仕事が少ない
- ・先生の余裕があって受けとめてくれる。先生の忙しさを軽くできたらな。
- ・人員配置を増やす。教員の待遇を見直す。
- ・教員の増員で、子ども一人あたりの人数を減らし、事務負担を減らす。教員の仕事内容の見直し
- ・何はともあれ先生はもっといた方がいい。チームでカバーする学級

#### (2) 先生をサポート

- ・地域の大人や保護者が先生を助けよう！ うごく。
- ・先生だけでなく、サポーターが必要 ・各クラスに支援員さん（地域の人とか）
- ・担任に任せながらも保護者の視点で学校をバックアップする
- ・先生たちだけではなく地域のみんで協力していく。地域のみんなんにもやりがいがある
- ・クラスに関わる大人を複数にする
- ・先生という人以外に学校にいろいろな大人がいる
- ・ふつうの大人がかかわりやすくする
- ・地域の人が協力して学校作りを行う（イベントなど）そういう場をつくる
- ・先生だけではできないので地域の力を借りる
- ・職業体験など既成のもの以外にも地域の人との交流機会をもつ。バザー、手伝いなど

#### (3) 開かれた学校へ

- ・子ども、保護者、地域から学校へ提案
- ・保護者が運営に係ることができる
- ・地域の大人たちが普段から学校にいられるようにする
- ・開かれた学校、教室、いろいろな価値観にふれることができる環境づくり
- ・いつでも学校見学やサポートの為、親が行ける（ぬきうち）
- ・大学生が教員との間のクッションになる。楽しくなる、話しやすい。
- ・PTA をボランティア制にする

### 2. こんな先生に

#### (1) 先生自身がわくわくして！

- ・先生が楽しそうに教えてくれる学校

- ・先生もわくわくする
- ・先生が先生らしく
- ・授業をおもしろくする

#### (2) 先生どうして助け合って

- ・教師同士で評価しあわない方がいい ・目の前の先生たちが楽しそうにしている
- ・先生同士でもいろいろな話をして安心し合える学校にする
- ・教科学習も楽しませて教えられている先生がいるので、先生同士の情報交換を密にしたらどうか
- ・職員会議での話し合いで自由に意見が言えるように
- ・教員同士が本音で話せる。弱音をはける
- ・障がい者の先生がいる

#### (3) 先生も学んで

- ・教材研究(教師が)特に ICT
- ・授業評価のフィードバック

#### (4) 担任の先生ひとりに任せないで

- ・担任の先生を決めないで、学年の先生がみんな担任になる
- ・担任の先生と合わなかったら担任の先生を変えられる。
- ・担任の先生を子どもが決めることができる
- ・先生を選べる
- ・担任制をゆるくする
- ・学級を開放する

### 3. こんな大人になっていこう

#### (1) 大丈夫だよ。おおらかに見守る

- ・見守る大人が一人でもいればいい
- ・信頼できる大人が一人でもいればいい
- ・おおらかで愛情深い大人の存在
- ・大人が子どもの目線に合わせる
- ・いろんな人がいて大丈夫なんだよというメッセージを大人が伝え続ける(大人同士も)

#### (2) わくわく、居心地よく

- ・大人が楽しそうに子どもとかかわってくれる学校、地域
- ・大人もわくわくする(教員も、管理職も、保護者も)
- ・本気で子どもたちと一緒に大人も地域で遊ぶ。全員が参加できるし参加したくない人も居心地がよいところ

### (3) 子どもを信じる

- ・子どもの可能性を信じる
- ・子どもを信じて任せる
- ・やることをジャッジしない
- ・大人の意識を変える
- ・「否定しない」をやってみる
- ・子どもを一人の人として尊重すること

## 4. 教育システムや学校への意識を変えよう

### (1) 教育政策・学校システムを変えよう

- ・国の教育政策を変える
- ・古いシステムを変えていく
- ・各学校で考えたことを自由に実現できる

### (2) 学校への意識を変えよう

- ・学校=勉強するだけの場所という社会の意識をかえる。学校は学力だけの学びをする場所ではない
- ・地域全体で一つの学校という意識をもつ
- ・今の枠の中で考えないで、今の常識をこえる
- ・校長の意識を変える(文句としては校長変えたい)
- ・老人ホームと同じ施設に学校を作る
- ・いつでも学校公開

### (3) クラス編成を変えよう

- ・少人数学校を実現していく(子どもたちの話をじっくり聞けるように)
  - ・少人数・15人ぐらいひとクラス
  - ・コース別クラス。
  - ・もっと少人数で、先生を増やす
- (好きなことを探求するクラス・大学受験の勉強クラス・いろいろな教科の勉強クラス)

## 5. こんな学習内容、こんな活動を

### (1) やりたい!をやれる

- ・授業の時間を1時間、一日の最後に何しても良い時間をつくる。  
(マンガを読む、お菓子を食べても良い、トランプしてもよい。友達とのかかわりができる)
- ・週一イベント時間をつくる。楽しみの時間になる
- ・皆でゲームをする。先生には自分が育った時代をすててほしい。
- ・自由学習の時間を作る

- ・子どもが自由な時間をもつ
- ・子どもたち一人ひとりのやりたいことをやる
- ・子どものやりたいことリストをつくる
- ・週に一日、子どもたちがやる事を決める日

## (2) 良さに気づく

- ・自分の良さ、他人の良さを発見できる時間をつくる
- ・自分の良さに自分が気付ける体験ができる
- ・友達や先生のことを知ることができる時間、余裕がある
- ・校長先生との会談

## (3) 学びたいことを!

- ・学びたいことを自分で選べる ・子どもが好きなことを勝手に学べる
- ・子どもが自分で自分の教材を選んで勉強できるようにする
- ・機会を提供する
- ・学校で畑仕事をする
- ・ある程度子どもが選べる授業をつくる。実習を増やす

## (4) 教える体験

- ・児童が先生になる時間がある
- ・それぞれの得意を出す⇒やる事だけではない存在が特別だったりする。出せる場をつくる

## (5) 時には休む自由を

- ・授業はメインメニューなだけで、出てもでなくても寝てもいい気分が尊重される
- ・授業参加は自由にする

## (6) 時間が欲しい

- ・休み時間をもっと自由に友達とのびのびと遊べたら
- ・昼食を長く。もっと遊ぶ時間を
- ・午前中で授業は終わりにする
- ・自由な時間 気が休まる時間 ワークショップみたいな場
- ・授業時間の枠を外す

## (7) 異世代で学ぶ

- ・親が小学校に行き学ぶ体験
- ・異世代での交流
- ・おじいちゃん⇒自分の得意を教えてくれる
- ・高齢者(おじちゃん、おばあちゃん)から学ぶ時間

## 6. 子どもの声を聞く。子どもが決める

- ・自分で考えを自由に言えて、自分たちで学校をつくっている実感がもてる
- ・子どもの意見を取り入れていく
- ・どんな意見に対しても、まず「いいね」と言ってから。どんな意見でも否定されない
- ・いつも対話できる。その子の意見が大切にされる⇒教員の忙しすぎの解消
- ・大人を論破していい⇒大人が新しい価値観を学んでいく。本音と言える
- ・目安箱（自分の意見を投げられる） ・子どもの意見を聞く ・子どもに聞く
- ・子どもたちの意見を大人と同等なものとして聞く
- ・一人一人の対話を通じて興味を引き出す
- ・スモールステップで、できることから一年に一個の子どもの意見を実現させる
- ・子どもの話を聞いて取り入れる姿勢をみせる！
- ・子どもたち自身に決定権をもたせる
- ・児童会や生徒会で何でも話し合う
- ・子どもも大人も対等。みんなて話し合える学校
- ・みんなてどんな子がいるか話し合う
- ・給食に関しての話し合い（関係者と生徒代表者の）の時間を確保する
- ・まずは子どもの意見を聞く場をつくろう。一人ひとりの子どもの声を聞こう

## 7. 校則やきまりは最低限に

- ・校則は何のためにあるかを話し合う
- ・ルールをなくす。作り直す
- ・ルールを自分たちで考え一度実行してみる
- ・校則。やっぱり本当に必要な人としての最低限守る事だけに
- ・ルールや「それはだめ」をつくらない。みなおして、なくしていく。

## 8. こんな空間を！

- ・子どもも大人も一緒に遊べる場所
- ・いろいろな特性がある子どもたちが日常的に一緒にいる
- ・黒板やイスがないフラットな教育（座りたい人でイスもある）
- ・子どものありのままの姿が守られる。
- ・好きな場所でいられる
- ・いろいろな居場所が必要
- ・安心 安全 ・身体的心理的の安心・安全が守られる
- ・何をしたいかに合わせたハード面の設計・工夫（建物・配置等）

## 9. 対話で前へ

- ・学校の先生を集めて同じ木村先生のセミナーを聞く場をもうける
- ・木村先生の講演動画をつねに流し続ける
- ・先生・保護者・子どもが意見をだし合っていく
- ・学校と保護者が対話する場をつくる (PTA, コミュニティスクールが機能していない)
- ・先生と保護者と子どもの対話
- ・こういった学校をつくりたいを出し合う⇒そのためにできることをいろいろやってみる⇒うまくいかなければ修正してもう一度
- ・みんなで考えあうこと。事実、ありのままをみつめる⇒アイデアを出し合う⇒否定せずがいいところをしてみる
- ・相手を思いやる。誰も否定しない
- ・信頼関係を築く
- ・みんな対等
- ・みんなで協力する
- ・先生も保護者も誰をたよっても大丈夫